

科目名	精神看護援助論Ⅰ (疾患)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/精神看護学
開講年次・時期	2 年前期 令和4年4月19日	単位数/時間	1 単位/30 時間 精神看護援助論Ⅰは以下の①②を合わせて1 単位 ①疾患:中村先生(15 時間) ②看護援助の基本:佐々木先生(15 時間)
担当講師名	中村 正彦 先生	所属・役職	宮古山口病院・副院長
		資格・免許	精神保健指定医 日本精神神経学会認定専門医・指導医
授業の概要	心の健康問題および、精神疾患について法律を含め理解することをねらいとする。 さらに主な疾患の症状、治療法などを理解する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害の診断と分類、それに基づく様々な精神障害について理解する。</li> <li>・主な精神疾患の症状、治療について理解する。</li> </ul>		
事前学習内容	・学習内容について事前に教科書に目を通してから講義に臨むこと		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験（100 点満点）による評価 ※佐々木先生の試験（100 点満点）との平均点が成績評価となる</li> <li>・出席状況</li> </ul>		
使用テキスト	医学書院 精神看護の基礎 第6版 第1刷（第5章・6章）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	統合失調症の症状、治療など		講義
第2回	気分〔感情〕障害の症状、治療など		講義
第3回	気分〔感情〕障害、神経症性障害の症状、治療など		講義
第4回	神経症性障害・ストレス関連障害の症状、治療など		講義
第5回	精神作用物質使用による精神および行動の障害 (アルコール依存症の症状、治療など)		講義
第6回	器質性精神障害（認知症等）の症状、治療など		講義
第7回	器質性精神障害（症状精神病）、パーソナリティ障害		講義
履修上の留意点	不明な点はそのままにせず質問するなど、積極的に知識の習得に努めること。		

科目名	精神看護援助論Ⅰ (看護援助の基本)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/精神看護学	
開講年次・時期	2 年前期 令和 4 年 9 月 26 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 精神看護援助論Ⅰは以下の①②を合わせて 1 単位 ①疾患:中村先生(15 時間) ②看護援助の基本:佐々木先生(15 時間)	
担当講師名	佐々木 真弘 先生	所属・役職	宮古山口病院 副総看護師長兼看護師長	
		資格・免許	看護師	
授業の概要	心の健康問題および、精神疾患について法律を含め理解することをねらいとする。さらに主な疾患の症状、治療法などを理解する。精神障がいを持つ患者への看護援助の基本を講義、ロールプレイングを含めた演習を通し理解し、患者の思いを考えとることができる。更に、精神の特徴をとらえた看護過程を展開する方法を習得する。			
到達目標	・看護者－患者関係の意義(治療的かかわり)について説明できる。 ・精神障がいをもつ人々の回復を支える様々な治療的アプローチ方法を理解できる。			
成績評価の方法	・筆記試験（100 点満点）による評価 ※中村先生の試験（100 点満点）との平均点が成績評価となる ・出席状況			
使用テキスト	医学書院 精神看護の展開 第 6 版 第 1 刷			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		教科書の 該当箇所	授業 形態
第 1 回	精神看護における対象理解		第 8 章 p 2～27	講義 演習
第 2 回	対象理解、精神科看護におけるケアの原則、方法			講義
第 3 回	対人関係のアセスメント ・関係をアセスメントすることの意味と方法 ・プロセスレコードの活用方法		第 8 章 p 28～45	講義 演習
第 4 回	ケアの人間関係 ・患者-看護師関係でおきる現象のしくみや意味 ・医療の場のチームの中で生じやすい問題と対処法		第 8 章 p 45～68	講義
第 5 回	精神科リハビリテーション ・患者にとっての回復の意味 ・回復を支えるさまざまなプログラム		第 9 章 p 70～111	講義
第 6 回	看護過程展開方法 ・情報収集の視点・手段 ・アセスメントの考え方		第 11 章 p 233～247	講義 演習
第 7 回	アサーティブトレーニング、まとめ			演習
履修上の留意点	・不明な点はそのままにせず質問するなど、積極的に知識の習得に努めること。			

科目名	精神看護援助論Ⅱ	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/精神看護学	
開講年次・時期	2年後期 令和4年12月6日	単位数/時間	1単位/30時間 ※精神看護援助論Ⅱは佐々木直先生10時間、 佐々木武志先生20時間を合わせて1単位	
担当講師名	佐々木 直 先生	所属・職位	三陸病院・	
		資格・免許	看護師	
授業の概要	心の健康問題および、精神を病む人の看護の原則および方法について理解することをねらいとする。			
到達目標	・回復過程における入院治療の意味や、患者の回復を促す治療的環境を理解する。 ・精神科におけるリスクマネジメントについて理解する。			
成績評価の方法	・筆記試験による評価(配点：30点／100点) ※2名の講師合わせて100点満点で6割に満たない場合は再試験			
使用テキスト	・医学書院 精神看護の展開／精神看護学②(第6版第1刷)			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		教科書の 該当箇所	授業形態
第1回	入院治療の目的と意味 ・精神科を受診すること ・精神科への入院と患者の同意（入院形態）		p196～209	講義
第2回	入院治療の目的と意味 ・精神科病院の機能と精神科病棟の特徴（開放病棟・閉鎖病棟、構造・設備など） ・入院の治療の意味、入院による効果と問題		p209～223	講義
第3回	回復を促す治療的環境 ・治療的環境の要件   ・治療的環境としての看護師 ・開放処遇 安全な治療環境の提供 ・入院時のオリエンテーションとリスク状態のアセスメント		p223～229 p230～235	講義
第4回	安全な治療環境の提供 ・病棟環境の整備と行動制限		p312～323	講義
第5回	安全な治療環境の提供 ・自殺のリスクアセスメントと自傷、自殺予防のケア ・攻撃的行動、暴力の予防と対処 ・無断離院 ・院内を中心とした災害時のケア		p323～348	講義
履修上の留意点	・事前に教科書の該当ページに目を通してから講義に臨むこと ・不明な点はそのままにせず質問するなど、積極的に知識の習得に努めること			

科目名	精神看護援助論Ⅱ	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/精神看護学	
開講年次・時期	2年後期 令和4年12月1日	単位数/時間	1 単位/30 時間 ※精神看護援助論Ⅱは佐々木直先生 10 時間、 佐々木武志先生 20 時間を合わせて 1 単位	
担当講師名	佐々木 武志 先生	所属・職位	宮古山口病院・看護師長補佐	
		資格・免許	看護師	
授業の概要	心の健康問題および、精神を病む人の看護の原則および方法について理解することをねらいとする。			
到達目標	・精神科に多い身体合併症とその看護、精神科で行われることが多い日常的な身体のケアの実際を理解する。 ・電気けいれん療法や薬物療法などの治療を受ける患者の看護を理解する。 ・主な精神疾患・精神症状に応じた看護援助について理解する。 ・統合失調症患者の事例を通して必要な看護を考えることができる。			
成績評価の方法	・試験による評価(配点：70 点／100 点) ※2名の講師合わせて 100 点満点で6割に満たない場合は再試験			
使用テキスト	・医学書院 精神看護の展開／精神看護学②(第6版第1刷) ・参考文献 山本勝則他編：看護実践のための根拠がわかる精神看護技術，メヂカルフレンド社			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		テキストの 該当箇所	授業形態
第1回	精神科における身体のケア ・身体のケアがもつ意味 ・患者の回復段階に応じた身体のケア ・日常生活における身体ケア（睡眠のケアも含む）		p 256～282	講義
第2回	精神科における身体のケア ・精神科の治療（薬物療法・電気けいれん療法）を受ける患者の看護		p 283～297	講義
第3回	精神科における身体のケア ・身体合併症(メタボリックシンドローム、やせ、肺炎、骨折、窒息、悪性新生物)のアセスメントとケア ・精神科における終末期ケア		p 298～309	講義
第4回	症状マネジメント(配布資料を用いて) ・症状(幻覚・妄想、不安、無為・自閉、拒絶)の特徴とアセスメント、援助方法		配布資料 を使用	講義
第5回	統合失調症患者の看護			講義
第6回	気分〔感情〕障害患者の看護			講義
第7回	パーソナリティ障害患者の看護			講義
第8回	アディクションの問題をもつ患者の看護			講義
第9回	統合失調症の事例を用いて看護過程の展開 (アセスメント・看護計画立案)			演習
第10回				
履修上の留意点	・事前に教科書の該当箇所に目を通してから講義に臨むこと ・不明な点はそのままにせず質問するなど、積極的に知識の習得に努めること ・第4～10回は配布資料を用いるが、既習の疾患や症状について復習をした上で授業に臨むこと			